

千葉大学医学部附属病院へ脳卒中で受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年4月13日

脳神経内科

脳神経内科では、脳卒中の重症度、予後予測を目的とした血中バイオマーカー測定に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2009年1月1日から実施中の「神経・筋疾患の患者試料を用いた包括的プロテオーム解析」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用および提供に同意された方

1. 研究課題名

「脳卒中の重症度、予後予測を目的とした血中バイオマーカー測定」

2. 研究期間

2025年承認日～2030年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

脳卒中は脳の血管がつまったり、やぶれたりすることで脳が障害を受けてしまう病気の総称です。脳卒中は日本人の死亡原因の第3位であり、その克服は日本の医療にとって重要な課題といえます。脳卒中の状態を評価するために、血液検査や画像検査など様々な検査が行われていますが、既存の検査手段のみで脳卒中の重症化や長期的な回復の程度を正確に予測することは困難です。この研究では、脳卒中患者さんの血液中の成分の濃度を測定し、脳卒中の経過を予測するための新たな検査法を確立していくことを目指

しています。

本研究の目的は2つあります。1つ目は、脳卒中患者さんの血液中の成分濃度と重症化や長期的な回復の程度を照らし合わせ、関連する成分を見つけることです。2つ目は脳卒中とその他の神経疾患の間で血液中の成分濃度を比較し、脳卒中で特に変化しやすい成分を見つけることです。

この研究においては、「神経・筋疾患の患者試料を用いた包括的プロテオーム解析」に参加された患者さんの、臨床情報および血液を使用します。脳卒中で受診された方だけでなく、脳卒中以外の神経疾患で受診された方もこの研究の対象となります。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・千葉大学脳神経内科で保管している血液検体
- ・電子カルテに保存されている臨床情報：年齢、性別、飲酒歴、喫煙歴、既往歴、内服歴、家族歴、発症前生活自立度などの背景情報、血液検査などの検査値、画像所見、受診後の治療経過など

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

| | |
|--------------|-------|
| 研究代表機関名 | 研究代表者 |
| 千葉大学医学部附属病院 | 鵜沢 顕之 |
| 共同研究機関名 | 研究責任者 |
| 国立循環器病研究センター | 古賀 政利 |

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院脳神経内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

脳神経内科 診療講師 鶴沢 顕之

043（222）7171 内線5414